



●●●●●●●● S-KYT研修事業を実施して ●●●●●●●●

兵庫県豊岡市豊岡消防団

1 はじめに

豊岡市は、兵庫県の北東部に位置し、県全体の4分の1の面積を有しています。

北は日本海に面し、京都府の「天橋立」、鳥取県の「鳥取砂丘」の中間地点付近にあり、特別天然記念物「コウノトリ」の野生復帰に取り組んでいます。

市の中央には悠久な流れを有する円山川が緩やかに日本海へ注ぎ、円山川とその支流に沿って盆地が形成され、多彩な四季を織りなす自然環境は、世界ジオパークに認定されています。

産業は、全国四大産地の一つ「豊岡かばん」をはじめ、出石焼、但馬ちりめんなどの地場産業が営まれています。

農林水産業では、農薬や化学肥料に頼らない「コウノトリ育むお米」や全国に名高い神戸牛・松阪牛の素牛である「但馬牛」の生産地であり、冬の味覚「松葉ガニ」をはじめ、四季折々に豊富な魚介類が水揚げされています。

観光面では全国的に有名な城崎温泉、国体も開催された西日本屈指の神鍋高原スキー場、歴史豊かな城下町・出石などを有し、多くの観光客が訪れています。

2 豊岡市豊岡消防団の沿革

豊岡市の消防団は、平成17年4月の合併により、2,230名の団員で組織されています。

その中で、旧豊岡市を管轄する豊岡市豊岡消防団は、平成2年9月の台風19号や平成16年10月の台風23号等、数多くの水害を経験しており、常に最前線に立ち、市民の安全安心のため活躍しています。

今後も、市民の安全安心を守り、市民から更に信頼される消防団を目指しています。

3 S-KYT研修事業を実施した経緯

豊岡消防団では、日頃から団員の安全管理を徹底するよう指導を行っていますが、度重なる災害により、数件の公務災害が発生し、具体的な対策を検討していました。

そのような中、近隣3市2町で構成する消防協議会で、消防基金の「安全管理セミナー」が開催されました。そのセミナーの講師の方から、「各消防団で、S-KYT研修を実施してはいかがでしょうか」と、ご提案いただきました。

そこで、消防団幹部に諮ったところ、「公務災害ゼロを目指し、ぜひ、S-KYT研修を受講しよう」という事になりました。



S-KYT スタート！

4 S-KYT研修を実施して

平成22年6月13日（日）、午後1時から、現場の指揮官を務める副分団長以上36名が、約3時間にわたる「S-KYT研修」に臨みました。

参加した消防団員は、この研修に対し、かなりの不安をもって参加していたようでしたが、いざ研修会がスタートし、時間が経過していくと、どの班も積極的に行動し、議論する姿が見受けられました。

事故防止対策の「指差し呼称」、災害現場に潜む危険要因の捉え方、団員への健康チェック等、消防団幹部として、団員の安全管理の重要性を再認識する事ができました。

研修会終了後、参加した団員からは、「安全確保の大切さ」、「指示を明確にすることの重要性」、「普段と違った事を敏感に見抜く力の必要性」などを改めて痛感したとの、多くの感想をいただきました。



指差し唱和



危険をみんなで考える



タッチアンドコール

5 今後の取組み

研修会終了後、参加者から「多くの団員が受講すべき内容である。」と、次回の開催について、積極的な声が挙がっていました。

今回の「S-KYT研修」は、初めての試みでありましたが、短時間で危険予知の真髄を修得できる研修でありました。

また、この研修は、普段のあらゆる生活の場

面にも大変役立つ内容でありますので、1人でも多くの団員に受講していただきたいと思えます。

今後は、この研修が様々な場面で生きてくると確信しています。

豊岡消防団では、公務災害ゼロを目指し、一層精進していきます。



発表